

セクハラ調査・防止事業参入

エデュテイメントプラネット

ネット活用、短時間で結果

エデュテイメントプラネット（東京都渋谷区、柳田善弘社長、03・6431・0541）は、ネットを活用したセクシャルハラスメント（性的嫌がらせ）の調査・防止事業に参入した。セクハラ対策の進んでいない企業が多く、ニーズがあると判断した。価格は調査が50万〜250万円、防止が50万〜300万円。主に中堅企業に売り込み、初年度8400万円の売り上げを目指す。

調査は2〜3週間で結果をまとめて、報告する。セクハラに対する企業内の問題個所の洗い出しや、セクハラ防止対策の成果などが測定できる。ネットを用いることで、従来の紙媒体によるアンケートと比べると短時間で結果が得られるほか、匿名性を確保でき、調査費用も紙媒体方式に比べ3割ほど安くなる。

セクハラ防止事業で、eラーニング教材を販売する。セクハラの基礎知識や予防方法などが習得できるもので、クイズやシミュレーションなどをを用い、飽きないよう工夫した。受講者自らのセクハラ発生リスクをチェックすることも可能。

アンケートの質問はセクハラ防止対策のノウハウを持つクオレ・シー・

キューブ（東京都新宿区）が作成した。同社は、組織内調査で実績がある。エデュテイメントプラネットは社員教育用教材などの企画や開発を手掛ける企業で、両社の特徴を生かして協力し合うことにした。

北

特性 分級 け